



# What's up, OITA!

世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

## 大分フェア in 香港 2023



香港で大分県の味を満喫できる「大分フェアin香港」が開催されました。このイベントは、香港にある飲食店「別府麵館」にて、11月16日から12月15日までの1か月間、大分県産品を使用した特別メニューが提供されるものです。

「大分フェアin香港」は、大分県海外親善大使の呂恵光氏が経営する「別府集団」と大分県が協力して実施するイベントです。香港の方々に、大分の新鮮な食材や伝統的な料理を存分に味わっていただき、大分の魅力を知ってもらうことが目的となっています。別府麵館では、別府の地獄をモチーフにしたラーメンなどが提供されており、期間中は、おいた和牛やかぼすぶり、日田梨などを使用した特別メニューが楽しめます。



## 県内のニュース

11月に起こった県内の出来事やニュースについてご紹介します。

- ・ホーバー2番船、国土交通省の検査に合格
- ・大分ーソウル路線、来年1月12日から週5便に
- ・大分交通、12月12日から空港特急バスの運賃引き上げ
- ・高さ11メートル、宇佐神宮に大鳥居完成 戦後初めて設置「新たなシンボルに」
- ・アフリカンサファリで赤ちゃんライオン誕生 雄の「かんだ」、25日から一般公開
- ・生活やキャリア形成…若年層移住へ大分県が支援 悩み相談や企業を紹介
- ・大分国際車いすマラソン開会式、選手が決意 4年ぶりパレードで市民と交流
- ・別府市でドローンと自走ロボの新聞配達実験 13回飛行「ノウハウ蓄積できた」



## 国際姉妹都市

## ドイツ・バートクロツインゲン市、

## ほかライプツィヒを表敬訪問



平成元（1989）年11月23日、旧直入町の故岩屋万一町長らが炭酸泉の活用方法を視察することで交流が始まった国際姉妹都市のドイツ・バートクロツインゲン市を2023年7月13日～20日の間表敬訪問しました。土居昌弘市長をはじめとし、佐藤美樹議長、志賀哲哉教育長ほか竹田市民で構成された計11名の訪問でした。

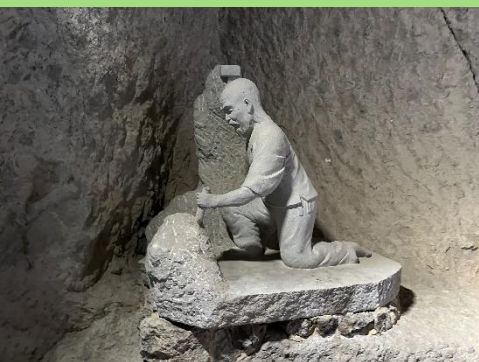
令和2年の土居昌弘市長就任後は、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により、交流自体が自粛されていましたが、昨年未渡航緩和をきっかけに、バートクロツインゲン市のキーバー市長から「光のまつり」への招待を頂いたことで、交流が実現しました。「光のまつり」では、本市で開催されるイベント「たけた竹灯籠竹楽」で使用されている燻製竹が使用されています。

現地では、ホームステイを体験し市民の方々と深い絆を育むことが出来ました。また、長湯温泉療養文化館「御前湯」と姉妹温泉施設を締結している「ヴィタクラシカ」で、世界に誇る炭酸泉を実際に体験しました。

キーバー市長からは、「会える日をずっと待っていた。遠くから来ていただいて対面で交流ができることに感激している。これからも交流を深めていきたい。」との声を頂きました。来年は、本市にドイツの訪問団の受け入れが予定されており、今後更なる交流の進展が期待されます。

また、今年は瀧廉太郎没後120年の節目にあたることから、廉太郎が過ごしたライプツィヒ市も訪問し、瀧廉太郎下宿跡のモニュメントの前で「荒城の月」を合唱しました。他にも、瀧廉太郎が通った音楽学校やメンデルスゾーンハウスの見学をすることが出来ました。ライプツィヒ市の国際交流担当の職員とも交流ができ、対面交流のすばらしさを再認識することができました。





## 手掘りのトンネル?

僕はトンネルという言葉を知ったら、手掘りのトンネルを思い浮かべることはまずありません。誰かがノミを手にし、山を見て、「穴を掘るぞ!!」って叫ぶなんて考えただけで、混乱してしまいます。僕の知る限り、手でトンネルを掘ることができる唯一の人物は、アメリカの民話に登場するヒーロー、ジョン・ヘンリーですが、物語の中でも、彼はトンネルを掘ったことで命を落としました。

しかし1735年、禅海和尚という名の僧侶が豊後を旅していたとき、耶馬溪で問題を抱える住民に出会いました。その住民は近隣に堰が建設され、川の水位が上がったため、競秀峰の高い断崖絶壁にある危険な橋を渡らなければならなかったのです。

禅海は、この危険な道で人や馬が命を失っていることを知り、人々のためにトンネルを作ることを決意しました。禅海は托鉢で資金を集め、数人の石工を雇って掘り始めました。そして、1750年、トンネルの一部が完成しました。その後、禅海は道路を利用する旅人から通行料の徴収を始め、これが日本初の有料道路になったと言われています。禅海と石工たちは、約30年後の1764年に全長342m(うちトンネル部分は144m)の道を完成させました。

このトンネルの名前は「青の洞門」といい、僕たちが耶馬溪を観光する旅で最初に立ち寄った場所です。毎年この辺り一帯にはネモフィラが植えられているそうですが、4月から5月に咲くので、今回は残念ながら見ることはできませんでした。

僕たちの目的は紅葉を見ることでした…が、今年は奇妙な天候のため、完全な紅葉を見るには少し早すぎました。それでも、黄色やオレンジ色の色づきがちらほらと見られました。

1900年代に大規模な改修が行われたため、トンネル自体はかつてのような完全な手掘りのものではなくはなっていますが、僧侶と石工がノミで削った跡が残るトンネルの「窓」など、いくつかの場所で当時の面影を感じられます。しかし、その跡を見ると、なぜ「他のトンネルのように火薬で石を吹き飛ばすのではなく、30年もノミだけ使って掘ったのか?」と考えさせられました。







## サイクリング・ロードって実在するの!?

このトンネルを抜けると、今回の旅のメインイベント、メイプル・サイクリング・ロードにたどり着きました。メインイベントと言いますが、実は同僚の一人は、自転車に乗る自信がなかったので、他の同僚とタンデム自転車に乗りました。二人乗りの自転車なんて見たことがなかったので、それだけでも面白い光景でした。ここに来た目的は主に紅葉を見るためでしたが、僕にとってはもうひとつ、行きたい理由がありました。サイクリングロードを走ったことがなかったからです。

もちろん、「bike path」(自転車の道)と呼ばれる、車が通行禁止になっている景色の良い道を走ったことはありますが、普通は英語で「サイクリングロード」とは言いません。「サイクリングロード」という言葉を聞いたのは、ポケモンのゲームの中だけでした。「What's Up, OITA!」を読んでくださっている方なら、僕がポケモンの大ファンであることはすでにご存知でしょう。別府の「アフリカン・サファリ」を見て、ポケモンの「サファリゾーン」しか思い浮かばなかったほどです。そんなこともあり、サイクリングロードにはかなり前から行ってみたいと思っていました。まあ、それとサイクリング全般も好きですから。

実は、サイクリング終盤にちょっとしたハプニングがありました。大抵の地図では、耶馬溪の南から北に行くルートになっているのですが、僕たちはそれとは逆ルートで、北から南へ、溪谷の方へと進みました。幸い、峡谷の両端には自転車をレンタルできる場所があるのですが、自転車を返す建物をなかなか見つけられませんでした。念のために、皆様にもお伝えしますが、もし巨大な看板に「サイクリングセンター」と大きな文字で書かれていたら、それはまさに自転車のある建物です。

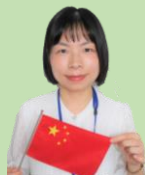
サイクリングロード自体は、期待していた通りの場所でした。美しい景色が広がるちゃんと整備された道、その景色を楽しむための休憩所、周辺地域の歴史を教える看板、そして最後にはのどかな日本庭園とおいしい料理のあるレストラン。僕はそこで炭そばを食べました。炭そばとは、炭を使ってそばを濃い灰色にしたものです。味には見た目ほどの影響はなく、美味しかったです。

そして長い旅を終え、地元の中学校近くのバス停でバスに乗りました。峡谷のすぐそばに、大きな中学校がありそこにも路線バスが通っているなんて、日本でしか見られない光景だと思います。





# メイプル耶馬サイクリングロードの旅



大分県中津市に位置する耶馬溪は山国川流域の溪流で、美しい風景と紅葉で知られ、日本新三景の一つに選ばれています。11月初め、秋は深まり、昼の気温は20度前後になってお出かけにピッタリ。私たち国際交流員の4人は、大分県の秋の美しい風景を楽しみに耶馬溪まで出かけることにしました。

まず電車で中津駅まで行き、そこからバスに乗り換えて青の洞門で降りました。青の洞門は耶馬溪の有名な観光スポットの一つで、断崖絶壁を貫く約300メートルのトンネルです。一見すると普通のトンネルのように見えますが、中に入ってみると、約100メートルの狭いトンネルが分かれてもう一本あることに驚きました。この狭いトンネルこそが青の洞門です。これは18世紀に地元で修行していた禅海という僧侶が、30年以上かけてノミで掘ったものだそうです。この偉業を記念するために、禅海和尚の彫像を作って、横にはトンネルの由来を紹介する文章も書いてあります。紹介を読むと、手で山を掘った壮絶な努力に感嘆せずにはられませんでした。

トンネルのある山は「競秀峰」と呼び、トンネルを抜けて橋を渡ると、向こうから競秀峰の奇岩奇石がはっきり見えます。多くの山の風景を見たことがある観光客にとっては、ここの山や石はそれほど特別に感じないかもしれませんが、今回の旅の目的は山ではなく、メイプル耶馬サイクリングロードでした。

溪流に沿って、自転車専用の道があります。この道は数十年前廃線になった鉄道線路が改装されたものです。鉄道跡を利用しているため勾配が緩やかで、子どもや初心者にもうれしいコースです。

青の洞門の近くには料理屋、コンビニや大型駐車場があり、自転車をレンタルできる場所もあります。私たち4人は3台の自転車をレンタルし、そのうちの1台は2人乗りの自転車でした。レンタル店のオーナーはサイクリングロード専用の地図をくれて、道を親切に案内してくれました。自転車専用道に入って、車も歩行者もない道で思い切り自転車を走らせてきました。

耶馬溪のこの流域は比較的広くて、この季節の水量はそれほど多くないため、大小さまざまな石で川が埋まっています。水は澄んでおり、流れは時には緩やかで、時には急です。川に沿って整備された国道があるので、車で遊びに来るのもいいです。



耶馬溪競秀峰



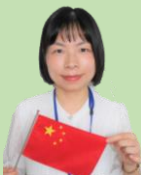
青の洞門内部



2人乗り自転車



# メイプル耶馬サイクリングロードの旅



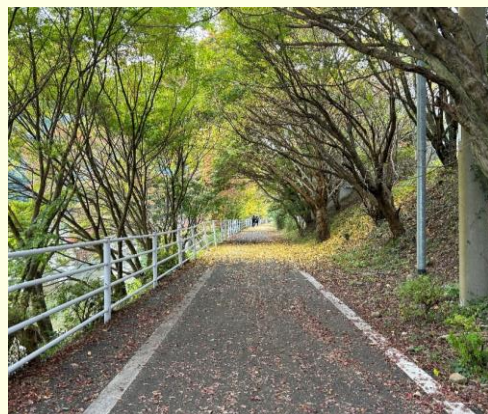
川の両側は高い山の崖もあれば、田んぼも見えます。道の両側には緑の木々が生い茂っていて、赤や黄色に変わり始めた木々が点在しています。青空、白雲、木立、清流などの風景を眺めながら自転車を走らせれば、まるで流れる風景画の中に身を置いているような気がして、心身がリフレッシュしました。

今年の秋は気温が少し高めで、11月上旬、この紅葉はまだ始まったばかりで、イチョウの葉も完全に黄色に変わっていませんでした。紅葉狩りには少し早かったようです。もう1、2週間待てば、この木々の色彩はより鮮やかになるでしょう。

トンネルを抜け、第二山国川橋で美しい写真を撮るをいっぱい撮って、しばらく走ると、耶馬溪ダム記念公園「溪石園」に到着しました。溪石園は和風の庭園で、園内の赤い橋から美しい写真が撮れます。園内には料理屋があり、昼食には炭そば、炭カレーやピザなど特色ある料理が楽しめます。また、大分県産のカボスを使ったスープやデザートもあります。青の洞門からここまでは約11キロのサイクリングだったので少し疲れましたが、ここで美しい景色を眺めながら美味しいものを食べたら、少し元気になりました。

昼食後、近くの耶馬溪ダム周辺を散策したかったのですが、帰りの電車の時間に間に合わないかと思い、今回は残念ながら諦めました。

中津市は日本の有名な歴史人物である福沢諭吉の故郷でもあります。現在、福沢氏の肖像が1万円札に印刷されています。中津駅のお土産店では、1万円札型のお菓子やハンカチなど、中津市ならではの土産が購入できます。



サイクリングロード



山国川第二橋梁



溪石園の赤い橋

## サイクリングロード ビギナーコース

～サイクリングセンター風水園から  
耶馬溪サイクリングターミナルまで～

距離: 約11キロ  
所要時間: 約1時間半

青の洞門  
サイクリングセンター風水園

自転車レンタル料金: 一般600円 小学生以下300円  
電動自転車1,300円

乗り捨て料は上記各500円加算

※スタッフ不在の時があるので事前TELをおすすめします。

お問い合わせ TEL: 097-952-2108



# WHAT'S UP, OITA!



왓츠업, 오이타!

2023年12月(多言語版 第87号)



【日本 大分-韓国 ソウル移動】

~4年ぶりに復活した国際線、韓国へ旅立とう~  
チェジュ航空 直行便 体験談 大分県

今年の6月22日にチェジュ航空が大分と韓国ソウル(仁川)をつなぐ路線を新規就航し、約4年ぶりに大分空港の国際線定期便が復活しました。現時点、週3往復運航(火、木、土)しているこの路線は、就航日の第一便はほぼ満席を占めたり、就航以降の平均搭乗率がおよそ80%となったりするなど好調ですが、冬期も観光客が増えるの見込まれ、



来年の1月から週5往復(月、火、木、金、土)に増便することになりました。このような中、就航して4ヶ月が経った先月ソウル出張が決まり、私もようやくこの飛行機を利用することができたので、今月号ではその体験談を話したいと思います。(※この便利な直行便に乗ってソウルを訪れても「どこに行けば良いかわからない!」という方のために、右のページでお勧めの観光地を簡単に紹介していますので、よろしければご覧ください!☺)

ソウルに来たらここに行ってみて!



ソウル特別市  
マスコットキャラクター  
ヘチ

## ① 明大聖堂



住所：ソウル特別市中区明洞通り74

韓国カトリック教会の共同体が誕生した、韓国カトリック教会を代表する聖地です。  
韓国で最初に作られたゴシック様式の建物でもあります。

## ② 仁寺洞通り



住所：ソウル特別市鐘路区仁寺洞通り49

画廊、伝統工芸店、古美術店、伝統茶屋・飲食店などが集まっており、都会の中で韓国の伝統文化が楽しめる街です。

## ③ 世宗大王銅像



住所：ソウル特別市鐘路区世宗大路175

ハングルを創った世宗大王の業績を称えるために建てられた像です。その前には大王の業績である発明品の模型も設置されています。

# WHAT'S UP, OITA!



왓츠업, 오이타!

2023年12月(多言語版 第87号)



【韓国 韓国一大分 大分移動】

約2時間で(※気象状況などにより変わる可能性があります)大分からすぐ韓国に行ける直行便があることは、とても魅力的なことだと思います。個人的な話ではありますが、私は大分で生活をする中で、何回か帰国する用事がありました。しかし、当時新型コロナウイルス感染症の影響で空の便が急激に減ってしまい、いつも最も近い大分空港ではなく他の空港を利用するしかありませんでした。毎回長時間移動をすることは体力的にとっても厳しかったので、そんな私にとって大分の直行便就航のお知らせはまさに朗報だったのです。そこで実際に利用したところ、空港までの移動が非常に便利になったことを実感し、心の底から感動しました…。



また、海外旅行の始まりである「空港」が近くにあることは、「海外旅行に行くのは遠くて、大変だ」という負担を少しでも減らせるのではないのでしょうか。この路線で「より多くの大分県民の方々が気軽に韓国を訪れることができるかもしれない」と思うと、少し嬉しくなりました。

出張が終わって大分に戻るために向かった仁川国際空港のカウンターは、朝一から日本行きの飛行機に乗る観光客で多少混んでいましたが、全体的にスムーズに手続きができました。



その後、搭乗口まで行く途中で「大分・OITA」と書いてあるビジョンを何回か見かけましたが、改めて直行便の就航を実感し、「この便がいつまでも飛んでくれたら」と思いました。

晴天の中で、大分空港に無事到着して到着ロビーに出ると、いつもの「おけちゃん」が迎えてくれていて、ついほっとして笑ってしまいました。来年の1月から週5往復運航が始まると、より多くの方々がそれぞれ大分とソウルを訪れることになると思いますが、お互いの国と地域の文化の違いなどを理解・尊重しながら、楽しい思い出を作ってほしいです。もちろん、チェジュ航空と共に!



## 🇰🇷 チェジュ航空 運航スケジュール 🇰🇷

2023年6月22日～  
週3回運航  
(火、木、土)

2024年1月12日～  
週5回運航  
(月、火、木、金、土)



ソウル→大分 (7C1508) 10:50～12:45  
大分→ソウル (7C1507) 14:10～16:15

📣 大韓航空も冬期の運航を再開!  
2024年1月20日～3月30日の月、木、土 各1往復



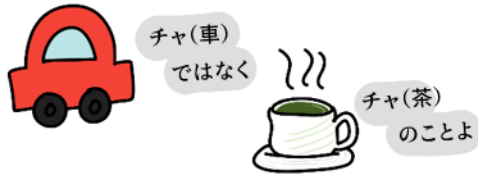
# ノジ in おおいた

国際交流員の日常 vol.33



ノ・ジョン  
作： 盧 知榮  
(Noh Jiyoung)

何年か前に、日本人の友達から  
誕プレでお茶をもらったことがあるが、



※韓国語で「車」と「お茶」は発音が同じ

それ以降、地域をイメージしたお茶を  
缶に入れて、地域限定のイラストラベルを  
貼った商品を集める趣味ができた。



普段、あまりお茶を飲まないので  
久々のお茶はとっても美味しかった。



旅行をしながら買った地域限定のお茶を  
おうちで飲んでいると、当時の思い出が  
よみがえるのでおすすめするけど、



どのお茶か気になって調べたところ  
「ル〇シア」の商品だとわかったが、

★このブランドとノジは何の関係もありません。  
自分が好きで紹介するだけです。



はまってしまうと、あっという間に  
家中がお茶でいっぱいになるので、  
注意した方がよいかもしれない(自分のこと)。



その時、偶然公式HPから  
「地域限定茶」というものを見かけて、





# from our Reporters 国際交流員だより



## ◆ ぽかぽかしてふわふわな「楽しみ」

ノ・ジョン  
韓国国際交流員 盧知榮

韓国で冬のおやつとして大人気の「たこ焼き」を移動販売車で買うときは現金支払いが普通です。みなさんもご存じかと思いますが、移動販売車はどこに現れるのか予想がつかない特徴があるため、この時期になると常に懐に3000ウォン程度の現金を入れて歩く韓国人が多くなります。

日本では店頭販売のイメージが強かったせいか、たこ焼きを食べない私でも、先日初めて日本でたこ焼きの移動販売車を見かけときは、レアポケモンを発見したかのように嬉しかったです（笑）。きっと「思いもよらなかった出会いから来る喜び」に胸が暖かくなったからでしょう。そんな「楽しみ」を知ってしまった私は、その日から「懐に現金を入れて」この車にまた出会える日を待つようになりました。「ほんわか、ふんわか、ほんわかほい♪」と歌いながら...



## ◆ 木製の木星

アメリカ国際交流員 オースティン・ヴォーン

僕のふるさとのファーマントン市には、ユタ州唯一の遊園地があります。そこに、“Roller Coaster”という木製のジェットコースターがあり、子どもの頃から何度も乗っていました。ジェットコースターは英語で「ローラーコースター」と言いますが、その名前から分かるように、まだジェットコースターが一般的ではなかった頃のものだと思います（実際、世界で7番目に古い）。このコースターが木製ということで、城島高原にジュピターという日本初の木製コースター（ジュピター...木製...なるほど笑）があると聞いたときからずっと乗りたいと思っていました。そして、先日、友人たちと初めて城島高原パークに行ったとき、何回もジュピターに乗りました。“Roller Coaster”よりは激しかったです、とても楽しかったです。



## ◆ 茶道との「一期一会」

ヨウ・コウカ  
中国国際交流員 楊江華

中国にいる時、日本人の先生に茶道の作法を教わったことがありますが、文字や写真を見て習っただけだったので、日本に来たら、本場の茶道を見学したいなと思っていました。11月に大分市観光協会のイベントに招いていただき、茶道を体験できることになりました。外国人向けの体験教室だからなのか、和室ではなく、ロビーに椅子とテーブルを出して茶道をするのは少し残念に思いましたが（後にこれは「立礼式」という方法だと分かった）茶道の先生に一对一の個別指導をさせていただいて、お茶の点て方や頂き方を学び本当に珍しい体験でした。一度だけではなんだか物足りないように思いましたが、「一期一会」の精神を胸に、引き続き日本での生活をしてみたいと思います。



## あなたの活動を世界に紹介しませんか？

県人会の活動（懇親会等）や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください！（様式は任意です）

【記事提供／お問い合わせ先】

国際政策課 担当：生野、中山

【Mail】[a10140@pref.oita.lg.jp](mailto:a10140@pref.oita.lg.jp)

募集中!

